

雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」



雄峰

第168号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市郡元一丁目20番35号
令和6年3月7日



この出会いを胸に



入学式



初めての研究公開



2年次の文化祭



最後の運動会

未来へはばたけ

「前途洋々たる君たちへ」

PTA会長 有村 純頼

ご卒業おめでとうございませう！中学校生活のほとんどは新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校生活や行事も大きく影響を受けたことかと思えます。しかしながら、皆さんは先生方のアドバイスのもと、創意工夫を凝らし、様々な困難を乗り越えてきました。これから先の人生においても、いくつもの大きな壁が目の前に立ちほだかることもあるでしょう。その時はこの附属で学んだ通り、それらの問題から逃げることなく、正面からしっかりと受け止め、色々な人に相談して解決していきましょう。その相談相手の中に、この三年間を共に過ごした同級生や先輩、後輩、先生方がいれば、どんなに心強く、素敵なことでしょう。この繋がりや絆は何物にも代えがたい皆さんの一生の宝物となることと思います。そして、これまで育ててくれた保護者をはじめとするご家族や、熱心にご指導いただいた先生方への感謝の気持ちを言葉にして伝えましょう。前途洋々たる皆さんの人生が幸せに満ち溢れるものとなりますことを心からお祈りしております。

「静思」

「意気あり」

鹿大附属中



教頭

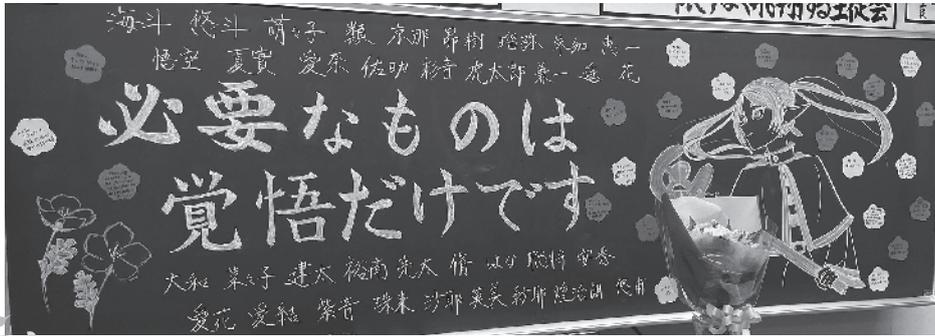
川上慎一郎

母校の校歌にお気に入りの一節がある。「集まり散じて人は変われど 仰ぐは同じき理想の光」◆みなさんもこの附属中に縁があつて入学し、情熱と彩りあふれる三年間を通して成長を遂げ、また次のステージへと進んでいく。一人ひとりの理想が同じとはかぎらないけれど、附属中の校歌には「蛍雪の理想」とある。夏は蛍の光を集め、冬は窓辺で雪明りを頼りに勉学に励んだ故事成語のように、テスト対策や訂正帳で、それぞれの理想に近づこうと夜な夜な努力したことはみな同じだろう。卒業しても、自分の理想を追い求め続けてほしい◆先の一節の前には「心のふるさと 我らが母校」とある。理想の追求に少し疲れたら、いつでも附属中に顔を見せに帰っておいで。そこには、今と変わらず意気ある後輩たちと先生方がいるはずだから。

3年生の皆さんの新たなスタートを応援しています

卒業生から

私立高校入試が迫る1月下旬、昨年附属中を卒業した先輩方が3年生の各クラスに集まり、黒板に合格祈願のメッセージを書いてくれました。黄色いチューリップの花束も卒業生からの贈り物。先輩から後輩へ“頑張れ”の思いを形にするこの良き伝統は約三十年前から引き継がれています。



壁画制作

1・2年生全員から3年生に贈る壁画（モザイクアート）は1cm×1cmのピースを252,000枚つなげて完成されます。これまでの感謝の思いを込めて制作中です。

「与えられる人」

三年学年主任 山口 隼人

附属中での生活は決して楽しいことや楽なことばかりではなかったと思います。課せられるものの量は多く、求められるものの質は高く、その重圧から、時に投げ出したり逃げ出したりしたかった時もあったかもしれませんが、それでも、自分でできることに情熱を込めて重ねてきたからこそ、得られた成果があったと思えます。決して、求めるだけ、与えられるばかりでは満足感を得られなかったはず。「願わなきや傷つかなかった。望まなきや失望もしなかった。それでも手を伸ばすからこそそのその傷跡を称（たた）え給（たま）え。理想を求めて手を伸ばしたからこそ、傷つくこともあったでしょう。しかし、だからこそ、得られたものがあり、それが今のあなたをつくっています。あなたと重ねた三年間。そのすべての時間がとても愛おしいです。附属中で重ねた三年間に自信と誇りをもち、あなたが得てきた様々なものを、他者のために与えられる人であってほしいと願います。心を大切に。あなたの未来が彩り豊かなことを祈っています。卒業おめでとう。

卒業する3年生に「なりたい自分～夢・希望・職業etc～」についてアンケートを実施し、近くで見守ってきた3年部の先生方から「挑戦する君にエールを！」をいただきました。（なりたい自分に彩れ！）

3年1組



担任 吉川 真悟先生

自分の言葉を大切に!

副担任 牧 俊輔先生

Don't lose faith.

宮原 大樹
人の生活を豊かにできるエンジニア

林 さくら
相手の立場に立てて物事を考えられる人

柿内 優理
この手で世界中の人を幸せにしたい

有川 凜
笑顔で人を元気にできる人

山口 莉奈
自分らしさを活かせる職業

福島 葵衣
人に誠実に接し、頼ってもらえる人

川畑 優瑞
人を勇気づけられる元気な人

石塚 諄理
たくさんの人を救える医者になりたい

山崎 さくら
人々の笑顔につながるモノをつくる

古殿 莉子
経済社会で活躍する公認会計士

クラス目標 **強靱な精神と深い優しさをもち 未来へ突き進む学級**

久木田 侑希
百戦錬磨を乗り越え人を救う強い人になる

伊藤 陽由
好きなことに一生懸命になれる人

山下 諒太
人に優しくし人を笑顔にできる人

本田 充人
困っている人に手を差しのべられる人

塚田 春灯
趣味にお金を回せる収入の仕事に就く

竹下 千衣瑠
幅広い分野で活躍する人

進藤 優衣
他人の心に寄り添える優しい人

酒匂 苺華
伝えたいことをはっきり伝えられる人

齋藤 しおん
教育の場で人を明るい気持ちにする

伊藤 瑠珂
助けを求めている人を助けられる教授

若松 道太
周りのために頑張ることができる人

増田 優晴
環境問題を解決する技術の研究開発者

寺原 尚太郎
何事にも諦めずに挑戦し続けられる人

田淵 雄大
日本と世界を繋ぎ日本を導く外交官

末永 凜琴
人の心の支えとなれる精神科医

追口 耀介
みんなをまとめる力のある、優しい人間

齋藤 守佑
周りの人を笑顔にできる医者

上山 宝晟
「誰か」に笑顔を届けるメディア関係者

満留 稜真
正しいと思ったことに恐れず挑戦する人

富奥 輝
相手を思いやれる人

保 翔晴
マッチョでどんなに難しいことも挑む人

末原 清真
誰かの楽しみのために努力できる人間

壽福 紗也
企業から信頼され、頼られる公認会計士

坂元 晃子
夢を実現させるために努力できる人

梅田 佳歩
多くの人に信頼される医師

3年2組

担任 日高 大志先生

己を磨きさらに輝け!

前田 蒼太
ペットを元気にし
て家族のもとに
返してあげる獣医

瀨崎 美伶
人や社会を支
えるための努力
ができる人

宮園 直季
どんな病気
も治せる医
者

福田 一叶
人のために
全力で動け
る人

村瀬 美和
思いやりをも
ち、感謝を伝
えられる人

福丸 涼風
自分のしたい
ことが自分
で出来る人

持富 花帆
自分の心に正
直に生きるこ
とができる人

淵山 豪志
自分も周り
も楽しませ
る人

湯田 健太
安定した取
入を得られ
る仕事

古市 結愛
勇気を与えら
れるような小
学校の先生

渡辺 観音
どこかの誰かの
人生の一場面
になれるような人間

堀田 桂史
人を楽しま
せることが
できる人



クラス
目標

**一人ひとりが大志を抱いて行動し
互いを煌めかせる学級**

長野 茉友香
世界の人達を
助ける日本ユ
ニセフ協会の職員

田代 里奈
常に冷静な
判断をする
パイロット

下園 杏璃咲
バレエダン
サーを助ける
整形外科医

佐野 李奥
世界規模で、
人のために活
躍できる人

桐原 叶多
人の未来を
守れる弁護
士

岩元 利陽仁
自分のしたい
ことができる人

永山 夕珠希
動物の気持ちに
配慮して正確に
診察できる獣医

徳満 香那子
仕事が丁寧
な公認会計
士

末廣 沙羅
人の心を幸
せにする脳
研究者

重水 隆清
国家を想う
裁判官

熊野 悠大
魅力的なブ
ロのパレエ
ダンサー

岡元 奏志
人の生活
を変えるよ
うな開発者

野口 凜子
最後まで患
者さんに寄
り添える医者

永井 瑛多
人のため
になる塗料
士

高味 美羽耶
人に幸せと
笑顔を贈
る人

下大迫 紀幸
周りや仲良
くできる人

桑水流 廉人
小さな変化に
も気付くこ
とができる人

小川 航生
人の役に立
てるようなス
ポーツトレー
ナー

副担任 永田 恵先生

夢は大きく、根は深く

川崎 琥太郎
パワフルな
サラリーマ
ン

有村 純慶
子供の笑顔
のために努
力できる人

川路 晴菜
多くの人を
笑顔にでき
る大人

磯脇 遼翔
一人ひとり
に寄り添え
る教師

北村 真悠
患者さんの
笑顔を生み
出す医師

岩佐 紫音
子どもに優
しく寄り添
える小児看護
師

3年3組

担任 原田 達也先生

宝探しの人生を!

古市 彩海
常に前進す
る強い自分
を持った人

中道 結愛
状況を判断し
臨機応変な対
応ができる人

松野下 侑矢
インプットを
アウトプット
できる人

中村 颯斗
魅力があり
人に慕われ
る大人

溝内 彩乃
関わる人た
ちを笑顔に
できる人

西 健太
人を大切に
するかっこ
いい人

宮里 鴻志
仕事も私生
活も全部楽
しむ人間

八谷 陽渚
人と自然を
大切にでき
る建築士

吉本 隆一郎
安定した取
入を得られ
る人

瀧田 夏葵
患者の笑顔
を引き出せる
医療従事者



クラス
目標

**寛大な心を持ち
理想の姿へ共に駆け上がる学級**

時任 明日香
人に安らぎを
届けられるよ
うな編集者

多田 桃子
後悔しないよ
う今を精一
杯生きる人

瀬戸口 諒
いい影響を
与えられる
優しい人

島田 ひかる
患者から頼
りにされる
心療内科医

倉津 圭吾
でけえ夢と
優しさを持
った海技士

浦田 みのり
自分も周り
の人も幸せに
できる強い人

飛松 智由利
より人を理
解できるマ
ルチリンガル

築山 千勢
日本の食文
化を守って
いく食品技術
者

高野 志仁
人の意思を尊
重できる意
志を持った医
師

清水 琉生
病気で苦し
む患者さん
を助ける薬
剤師

木場 蒼唯
患者さんに
親身になっ
て接する薬
剤師

海江田 航平
みんなのた
めに一生懸命
頑張る人

福島 大晴
人を頼り頼
られる自立
した人

中竹 杏理
誰かのため
に行動し信
頼される人

津曲 真真
思いやりを
持ち、相手に
感謝できる
人

竹田 咲樂
誰にでも優
しくでき
るような人

諏訪 健太郎
自分の意
思をしっかり
と持てる人

鮫島 悠翔
色んな人に
優しく接す
ることができる
人

川上 悠来
自分を律し
何事にもコツ
コツ取り組む
人

副担任 山口 隼人先生

自分から与えられる人に

木村 治稀
周りの人に
気を配り、笑
顔にできる
人

安部 陽次郎
不労所得の
システムを構
築している人

久保 宜嗣
生徒のこれ
からの人生
を手助けす
る教師

上谷 りお
夢を目標に
して叶える
ことができる
人

久米田 莉良
対応力のある
ノリが良い
アナウンサー

内田 陸
多くの人の
笑顔の家を
包み込む建
築士



3年4組

担任 前園 清幸先生

178人の夢が花開け!

水町 育心
利用者のことを第一に考えるマーケター

濱田 禮
人の心に響く曲を作るソングライター

宮崎 瑛都
真面目な生活を送れる大人

東川 乃々果
まわりの人を笑顔にできる人

盛満 健
人との交流を大事にできる薬剤師

平山 晴葉
どんな人も元気にさせるゲーム実況者

湯舟 未結
相手に優しく寄り添える薬剤師

福留 岬
周りを笑顔にできる思いやりのある人

横山 祐太
心の広い有名人

本田 陸人
ワクワクさせられるような任天堂の社員

若松 拓哉
子供心を忘れない大人

三浦 こよな
人に寄り添える臨床心理士



クラス
目標

確かな信頼を追い風に
38人の未来へと突き進む学級

中村 愛花
どんな事件でも解決する警察官

徳重 凜々花
誰かの笑顔をつくれる人

谷村 栄史郎
人のために真実を伝える記者

新谷 菜由
人の人生を豊かにできる医者・起業家

川原 大輝
誰かを笑顔にできるよな人

上園 歩佳
患者さんの気持ちに寄り添える医師

中山 稜都
日本の豊かな海を守る海上保安官

中川 凜
人の心に寄り添える優しい人

帖佐 怜奈
誰かのために想って行動できる人

高柳 光紀
個性を活かして努力し続けられる人

菊永 光
面白い番組を作るテレビディレクター

上山 祥輝
国民を幸せにする国家公務員

野元 天哉
日常生活に変化をもたらす土木設計士

中村 文音
患者さんを笑顔にし、頼られる医師

土屋 凜桜
生涯に寄り添える医療の仕事

田崎 佑治
心を動かす本を世に出せる編集者

是枝 花奈
たくさんの笑顔をもたらえる産婦人科医

内田 絢衣
動物のことを第一に考えるトレーナー

副担任 山口 隼人先生

与えたいと思われる人に

宇根 花音
人の気持ちを理解して常に最善を目指せる医師

揚野 望咲
困っている誰かを助けられる製薬者

榮鶴 美玲
命を救うために努力し続ける医師

池永 夏子
たくさんの人に笑顔を与えられる人

片平 虎太郎
周りの人を精一杯支えられる人

井上 結太郎
スポーツで笑顔と感動を与える職業

3年5組

担任 遠矢 圭祐先生

越えるべきは今の自分

松元 悠甫
何事も前向きに考えられる人

早川 紫音
一人でも多く助けることのできる小児科医

山下 煌治朗
選手を笑顔で支えるスポーツドクター

肥後 愛結
誰かのために一生懸命になれる看護師

山下 紗耶
小さな命に寄り添う、冷静な新生児科医

平井 愛花
偏見なく他者と接することのできる人

横山 英美
親子の気持ちに寄り添える小児科医

藤井 安秀
みんなに夢を与えられるプロ野球選手

吉川 沙耶
笑顔を絶やさず誰かのために動く人

松井 聡将
他者に信頼され、気配りができる人

若松 珠来
子どもの笑顔を増やせる児童福祉司

松村 はな
周りに気を配り、人を笑顔にできる人



クラス
目標

築いた信頼で協調性を高め
38の花咲き誇る学級

西園 建太
動物にも飼いたい主にも寄り添える獣医

中村 脩
家族に誇ってもらえる事を成し遂げる人

田畑 虎太郎
一人でも多くの人を幸せにできる人

角倉 花
笑顔を忘れず、人生を全力で楽しめる人

加藤 恵一
一人に幸せを与えられる人

井手 萌々子
相手の立場になって寄り添える人

西元 菜々子
どんなときも諦めず、努力する人

中村 亮太
患者さんから信頼されるような医者

寺師 彩音
1つ1つの命に真剣に向き合える獣医

田島 遥
世界中の研究者とともに働く薬理学者

小松 朱伽
周りの人の助けになれる人

井上 悠斗
動物と飼い主の心に寄り添える獣医師

榎木 大和
人のために一生懸命になれる人

西 裕南
誰かの支えになれる優しい人

長倉 佑助
誰かを笑顔にできるよな人

谷口 兼一
対話を大切にしてみんなに愛される人

鈴木 瑠弥
みんなが楽しめる建物を作る大工

今田 海斗
自分も周りも笑顔にできるよな人

副担任 中野 聖子先生

皆さんの未来に幸あれ!

岩川 愛奈
未来に希望を与えられる小児科医

青山 昂樹
人の役に立ち、周りから信頼される人

柿木 夏實
誰からも頼りにされ、愛される人

荒武 京那
鹿児島島の漁業を支えられる水族館飼育員

栢野 悟空
たくさんの国民を幸せにする公務員

伊集院 類
人の心に寄り添い、人を笑顔にさせる人

総務部

PTA副会長 岡部高之資

本年度、初めてPTA役員となり副会長の立場で皆様のご負担にならないように少しでもお役に立てるようにと不安で始まったPTA役員でした。至らないことやご迷惑をおかけしてしまつたことも多々あると思いますが先生方や皆様にご指導いただきながら活動してまいりました。今までに経験したことがないことばかりで驚きと皆様方へ尊敬ばかりの一年間でした。先生方にはコロナ禍から正常化への学校活動、様々なことへの細心の配慮、現状はもちろん先のことを考え行動される姿に感謝し、保護者の方々も子どものため、学校のためにと率先し行動される姿に尊敬、感謝ばかりでした。ありがとうございます。

PTA副会長 高 智子

本年度も会員の皆様にはPTA活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。時代の流れに合わせ、保護者、教職員の負担軽減や、PTA活動のスリム化・効率化を推進するため、本年度は組織改編よりスタートしました。業務の整理、見直しを行い、各専門部・学年部の役員の方々を中心に、本年度も充実したPTA

活動を行うことができました。また九附連鹿兒島大会に向けても活動を進めております。ご支援いただいた皆様に御礼申し上げます。

学年部

三学年委員長 井上 亜紀

多くの行事において「通常通りに戻します」という言葉が帰って来た中学校最後の年でした。子供たちは学校生活において、多くの行事に参加し貴重な体験をさせて頂きました。その姿からは、多くの感動を頂きました。成長した姿は誇らしく「かつこいい中学生」になったのではないのでしょうか。

愛情深くご指導頂いた先生方、PTA活動にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様方に心より感謝申し上げます。三年間、本当にありがとうございます。

二学年委員長 兒玉 万里子

新型コロナウイルスの五類移行に伴い、ようやく日常を取り戻してきた学校生活。子ども達は、中堅学年としての役割をしっかりと果たそうと、二学年一丸となって頑張りました。修学旅行をはじめ、学校行事も以前と同様に経験でき、心身ともに大きく成長できた一年だったと思います。学習・生活の両面にわたつ

て、丁寧できめ細かなご指導をしていただきました先生方をはじめ、PTA活動にご理解・ご協力をいただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

一学年委員長 泉 夏代

タンホイザー行進曲が響き渡る中、親子で伝統の重みに感動した入学式から早いもので一年が経とうとしています。運動会・文化祭など様々な行事に向けて、先輩方から思いを受け継いで、一生懸命に取り組み、体現していく姿に成長を実感できた一年でした。熱い思いで子どもたちに寄り添ってくださった先生方、ご支援・ご協力くださったPTA役員、保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。伝統を引き継いでいく子どもたちの成長が楽しみです。今後もご指導よろしくお願い申し上げます。

専門部

研修部長 新中須幸恵

研修部は今年度のテーマを「子どもの自立を支える家庭の在り方」とし、活動してまいりました。

研修視察は、四年ぶりに参加希望者を募り、甲南高校、鹿兒島高校へ訪問することができ、教育講演会は、「子どもの教育に必要なお金のはなし」を演題にご講演いただきました。これらの活動が、ご家庭についての会話のきっかけとなるとともに、保護者間の情報共有の一つとなりましたら幸いです。

今年度も皆様のご理解、ご協力のもと円滑に活動できましたことを、心より感謝いたします。

保健生活部長 野村えりか

今年度から保健部と生活部が合併し、新体制「保健生活部」としての活動がスタートいたしました。子どもたちが安心・安全かつ健康な中学校生活を送ることができるよう、長期休み中の校外指導の実施、各種会議への参加等を行ってまいりました。これらの活動が、子どもたちの健やかな成長と安全を見守る一助となれば幸いです。ご理解・ご協力をいただきました先生方、会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

広報部長 富川 法子

今年度は「心こそ大切なれど守りゆく伝統と変革へのチャレンジ」のテーマのもと、附属中の今を、雄峰に留めたいとの思いで紙面作りをして参りました。

今年度の新しい試みとして、運動会と文化祭のページを見開き二ページに増やし、両行事の様子がより伝わりやすいように工夫致しました。担当の部員の皆様には写真選びや記事の配置構成でご苦労をおかけしましたが、見応えのある内容になったと自負しております。

我が家は三人の子が附属中でお世話になり、これまでに頂いた雄峰は大事な宝物となっております。いつか大人になった我が子と共に雄峰を見ながら附属中の思い出話をするのが今から楽しみです。皆様にとつても雄峰が親子での対話の一助となれば幸いです。

至らない点多々あり、ご迷惑をおかけ致しましたが原稿執筆や写真提供にご協力くださいました皆様にご感謝申し上げます。



理事会の様子





研修部

教育講演会 令和5年11月24日(金)

子どもの教育に必要なお金のはなし
～3ステップで子どもの未来をしっかりとサポート!～

講師 かがしまファイナンシャルプラザ代表 塩田 耕栄 氏



昨今の物価高騰の中、この先子どもたちの高校・大学進学に向け、教育費はどの程度必要になるのか？

老後2000万円問題にどう準備をしていけばよいか？

なかなか人には相談しづらいお金の話を、塩田先生ご自身の子育て経験を変えながら講演していただきました。

約100名の保護者の皆様をご参加くださり、熱心に耳を傾けていました。

教育費の支出状況

この30年間で大学の授業料が国立でも約1.5倍になるなど、教育費の負担は大きくなっている一方、収入の伸びに比べ、税金や社会保険料の負担が増えているため、一般的には手取り収入が減っているのが現状である。

近年は物価上昇に加え、老後に必要な資金も自分達で貯めなくてはいけない社会環境に変化しつつある。大学進学にかかる費用や生活費を全て親が負担してくれていた時代と今では大きくお金に対する考え方が変わってきており、子どもの教育費が家計に大きな負担となつてのしかかる時代となっている。したがって私達親世代は、今の時代に合った教育資金の考え方やマネープランを取り入れる必要がある。

3ステップで子どもの未来をしっかりと創る

①いくら必要か？②どんな方法で準備するか？③希望や目標を定めた上で具体的な方法を選ぶ、この3ステップでどれくらい資金が必要か見える化するとよい。

大学進学に向け、親世代の1番の不安要素は『結局、いくらかかるのかわからない。』といった資金面の心配である。今、親ができることは、子どもの年齢でタイムスケジュールを確認し、大学進学時までの『マネープラン』を立てることである。

時間に余裕をもって長期でマネープランを考え資金準備を始められれば、心にも余裕がもて、子どもが選んだ将来をしっかりと応援することができる。

大学にかかる費用は進学資金シミュレーターといったアプリを活用すると、必要な資金などが分かりやすい。また、学費以外でも必要となる費用がある。特に、自宅・自宅外通学で経費が変わることも考慮する必要がある。

進学資金シミュレーター



2人に1人は奨学金の時代！

今の時代は奨学金制度を利用している学生も多く、約50%(2人に1人)は奨学金を受けている。

奨学金の他にも国の教育ローン(入学前の資金として利用できる)や民間金融機関の教育ローン等もある。

奨学金や教育ローンを「借金」とマイナスに考えるのではなく「自己投資」と考え、候補として考えてみることも1つである。

お金には匂がある！

大学進学にはお金が必要だが、13歳から18歳の間も貯めるだけではなく、子どもが様々な経験をできるようにお金を使つて欲しい。「今」だからできる体験や、経験も大事にしつつ、心に余裕をもって子供を応援するための教育資金準備、マネープランがあれば安心してお金を使うことができる。

まとめ

不安な気持ちのまま、漠然と自分達の経験をもって教育資金を準備するのではなく、社会の現況を把握するとともに、子どもとのコミュニケーションをよくとり、本人の希望に添えるように具体的に考え、余裕をもって準備する必要がある。

大学進学時までの短期間ではなく、教育ローンや奨学金を取り入れた長期のマネープランを考えるといった発想の転換も必要である。

今を大事にしつつ、心に余裕をもって子どもを応援するための教育資金準備が大事である。

アンケート結果から

- お金に関することはなかなか他人には相談しづらいですが、1番の問題である事だったので、今日の講演はとても参考になりました。
- これからのマネープランの立て方について、とても良い学びでした。奨学金は、借金ではなく自己投資という捉え方も、未来に向けて夢が広がるイメージがして、楽しくお金を使うことに繋がると感じました。
- 教育費に対する柔軟な考え方の重要性について、長期的なマネープランの必要性について実感が強まりました。
- 子どもとのコミュニケーションや、家計管理についての意識が高まりました。
- 具体的な数字をもって現実を直視し、子どもの希望に沿うための親の役割を再認識する事ができました。
- 奨学金や教育ローンなどの教育資金に関する具体的な情報をありがとうございました。

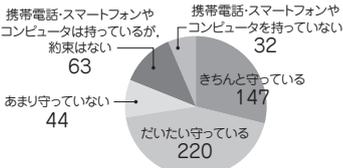


保健生活部

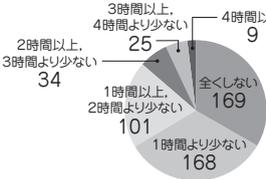
第2回学校保健委員会 令和6年2月2日(金)

【令和5年度学校保健委員会テーマ「親子で取り組む附中生活～メディアとの付き合い方～」について】

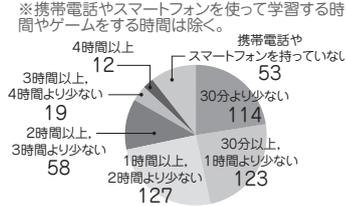
Q1 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



Q2 月曜日から金曜日は、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか。



Q3 月曜日から金曜日は、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。



7月20日実施のアンケート結果（対象者：本校生徒、回答者：506人）
メディアとの付き合い方について意見交換（参加者：学校医、職員、保護者、生徒）
～意見交換で出た内容（以下、抜粋）～

【メディアとの付き合い方について】

- メディアとの上手な付き合い方を身に付けるために、家族と話し合って、できるかぎり互いに納得ができるルール作りが必要である。
- 保護者がフィルタリングをかける際、制限と子どもの自立とのバランスが難しい。
- 子どもが自分自身で端末を管理できる状況下にある場合に、LINE等のトラブルが多いと感じる。
- XやInstagramなどの相手が見えないアプリの利用も多く、心配である。自分が知らない間に、加害者、被害者になる可能性があることを理解して利用したい。
- SNS等の使い方と同じくらい健康被害も心配であるため、スマホを見るときの姿勢や画面との距離に気を付けたい。
- メディアの安全な利用に向けて、保護者側が子どものスマホ使用の時間を制限できるアプリなどを導入している。細かい設定が可能のため便利。
- 「親がいる部屋で端末を利用する」、「端末の使用は22時まで」、「端末の使用は1時間のみ」等のルールを設けている。
- 勉強とメディア利用を両立するために、勉強中はスマホを手元に置かないなど、自分自身で制限をかけている。

【端末の持ち帰りについて】

- 子どもを信じたい気持ちがあるが、「学習のみに使用する」というルールが家庭で守れるか不安である。
- 端末があると便利なので持ち帰って、家で活用したいという思いがある。
- 放課後の時間は有限であり、時間をうまく活用するためにも端末を持ち帰りたい。
- 持ち帰った際に目的外使用をしてしまう生徒は一定数いると予想されることから、「学習に利用する」という前提を大切にしたい。

【学校医の指導助言】

内科医…インフルエンザ感染者が増え学級閉鎖が発生している学校もあるので、マスク着用や手洗いなどが大事。
眼科医…目やにがひどい時は感染性結膜炎の可能性もあるので注意してほしい。
歯科医…食事の時間が短いと、かむ回数が少なくなってしまう、脳への刺激が減少してしまう。家庭でゆっくり食事をとる時間をつくるのが望ましい。
薬剤師…自分が持っている免疫力を高めることが大事。（適度な睡眠・健全な食生活・適度な運動）

令和5年度西地区学校保健研究協議会 令和5年11月15日(水)

西地区研究テーマ「生涯にわたり、心豊かに健康な生活を送ることができる子どもの育成」
鹿児島市立東昌小学校の研究テーマである「歯と口の健康について考えよう～家庭と学校と学校医が連携したむし歯予防の取組を通して～」の実践発表をオンラインにて拝聴しました。

第59回 鹿児島市学校保健フォーラム 令和6年1月17日(水)

主題「『生涯にわたって、心豊かにたくましく生きぬく力を育む健康教育の推進』～健康で安全な生活を送るため主体的に行動できる子供の育成～」のもと、鹿児島市立錦江台小学校の実践発表や株式会社KAGO食スポーツ取締役 長島未央子先生による、「成長期に必要な栄養・運動・休養とは～日常生活から身につける食の自己管理能力～」について講話がありました。
食べる量に個人差はありますが、朝ごはんをとらないで登校する子どもが一定数いるそうなので、朝ごはんを子どもがしっかりとるために、保護者ができることは何か、子ども自身ができることは何かを、それぞれのご家庭に合った方法で考え、持続可能な食育が心身の健康に大事だということを改めて感じました。

台北視察研修

今回の研修の目的は、現地生徒との交流を通して、国際感覚を養うとともに異文化理解教育の充実を図ることです。そこで校長先生、永峯先生引率のもと、生徒3名が2月19日から22日まで国立台北教育大学や国立台北教育大学附属小学校、台北市立大直高級中学で交流活動やホームステイなどを体験しました。今後、附属中学校の特色ある学校づくりに寄与するために、今回の研修で学んだことを全校集会等で発表する予定です。



三年五組 山下 紗耶

今私たちに必要なことは、正確に英語を話すことではなく、チャレンジ精神と笑顔だと思った。この二つがあるだけで、この研修はとても充実したものになった。チャレンジ精神をもち、沢山の伝統的な料理に挑戦し、笑顔で沢山話しかけ、友達を作ることができた。ぜひ皆さんも、目の前のチャンスを見逃さずにあげこし挑戦してみたい。

二年二組 渡邊 李胡

今回の研修は、私にとって初めての海外渡航でもあり多少の不安もあった。ホームステイでは、伝統料理や生活マナー等の異文化に触れる貴重な経験ができた。時々コミュニケーションが取れない時もあったが丁寧な対応により理解できた。また、台湾の人々が何事に対しても「謝謝(ありがとう)」と口にし、感謝の気持ちや絆を重んじる姿に大変感銘を受けた。

一年一組 小田原 叶和

台北市立大直高級中学の視察が特に心に残った。主に中国語で行われた授業では、言葉が分からず困っていると近くの生徒が英語で説明してくれた。また、英語でおしゃべりをし、現地に友達ができ、違う言語を話す者同士が英語を使ってコミュニケーションが取れ、英語を学ぶ大切さを身

しみて感じた。中国語を話せない私のために、台湾の先生方は、英語や日本語を交えて授業をしてくださった。少しではあったが、授業についていくことができ、ありがた

いと思った。一人でクラスの入るのは不安だったが、ホストファミリーのかのんさんや他の生徒の皆に助けられ、充実した台湾研修となった。



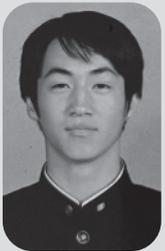
先生の中学時代！

続けること



三年一組副担任 牧 俊輔

幼い頃、私には特技がなかった。中学生になり、友人の誘いでサッカーを始めた。ポジションはゴールキーパー。上背があったから抜擢されたのではなく、足が遅かったからだ。また、中学二年生の運動会で応援団になった。代議員が応援団をする決まりだったからだ。どちらも、私のせいで負けてしまった苦しい思い出がある。大切な仲間への申し訳なさから私は「続ける」ことを決めた。サッカーは社会人でも続け、天皇杯出場にあと数勝まで迫った。応援団は高校でも続け、団員約百人の応援団長を務めた。中学校の教員として、生徒と部活や行事を通して青春を続けたい私を、当時の仲間は笑顔で応援してくれている。



卒業記念品紹介

令和5年度卒業生の皆さんから、当直黒板(ボード)が贈呈されました。生徒玄関に設置される予定です。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

広報部

柳先生と私たちが担当しました

雄峰168号編集

- 1-3 根葉
- 1-4 細山
- 1-5 星簇
- 2-3 富川
- 3-1 田淵

これからの主な予定

- | | | | |
|---------------------|-------|------------|-------|
| ● 始業式・新任式 | 4月8日 | ● 入学式 | 4月9日 |
| ● PTA総会・育友会総会・学級PTA | 4月26日 | ● 開校記念一日遠足 | 5月2日 |
| ● 九附連鹿兒島大会 | 5月10日 | ● 研究公開 | 5月31日 |
| ● 授業参観・学年・学級PTA | 7月上旬 | ● 前期中半終了 | 7月19日 |
| ● 前期後半開始 | 8月21日 | | |

※今後、予定変更の可能性がります。